



HP <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/himega-s/>

12月

学校だより/姫川原小



一粒のめぐみ

毎日の楽しみの給食。校長にとっては検食という子どもたちより一足早く食事をし、検食日誌を書くことになっている。一人とは静かな食事である。その寂しさを紛らすかのように、今では食事中に妙高のことが分かるブログを読むのが習慣となった。十二月号の一面は、私のお気に入りの papa さんのブログ写真「冬の棚田」から拝借した。

先日、姫小を支えて下さるボランティアのサポーターの皆様を迎えた。五年生が作ったさくら米による笹寿司を食べながらの感謝の集いである。酢による照りも出てか、笹の緑に映えた米が美しい。手のひらに笹を乗せ、米を確かめるように久々に皆と食べた。一粒一粒がしっかりとした、実に美味しい米であった。

その五年生に一合の米粒はどの位あるか課題を出した。彼らの予想を反して、約7900粒もあった。昔の人は一升の米粒の数をムシヤフナ64827と覚えたという。一升の米を数えた以前から米粒には信じられない歴史が詰まっている。一粒に七人の神さまが宿っているという話も歴史を物語る。一升の十分の一とすれば、さくら米の粒数は多かった。

その一粒の米から、翌年また米ができる。1㎡当たりの収穫量から、株数で割り、一株当たりの計算から、一本の苗当たりの粒が分かってくる。一粒の種もみから何百粒もの米ができること自体、感動に近い驚きがある。

雪に覆われた田は眠りの時となった。五年生は、一粒のめぐみを味わいつつ、冬場は「食べる」から算術の稲作学習が楽しめそうだ。それも一粒が教えてくれるめぐみである。

妙高の自然の家で おとまりだ

全校宿泊体験学習を実施

一年間を五つに分けた教育期に「出会い・かわり・広がり・ふかまり・感謝」と名がついています。ちょうど「深まり」の期にあたる十一月二十一日から一泊二日で、妙高自然の家にて、初の全校宿泊体験学習を行いました。これまで異学年とのかかわりあいを大切に、小集団活動を年間通して行ってきた集大成として、あえて全校にこだわったわけです。親元を離れ宿泊することで、子どもたちの力で困難なことを乗り越える力や、たくましさと自信を身に付けさせることを願いました。



オリエンテーリングでの姫小オリジナル課題に、川柳づくりがありました。大見出しは、宿泊への喜びを表現し1位に輝いた一句です。



バイキング形式の食事は計4回いただきました。全て班での行動です。バランスを考えた取り方を高学年がリードしたり、盛りすぎて食べられなくなった低学年のおかずを食べてあげたりする場面も数多く見かけました。楽しい会話に花が咲き、全員が終わるまでみんなで見守るほのぼのとした食事風景でした。

上の写真は、敷物をどんどん小さくしていったみんなが乗れるか挑戦しているところです。このように協力して子どもたちの力で課題解決を目指すプロジェクトアドベンチャー（冒険教育）を、たっぷり時間をかけ行いました。

「もっとこうしよう」と次々にアイデアを出していきます。リーダーの指示を待つだけでなく、進んでおんぶをしたり敷物を折ったり、今自分のすべき役割を少しずつ自覚しながら動いていきました。数多くのチャレンジを通し、お互い掛け合う声も大きくなり、自主性や協調性が生まれていきました。

活動を通しての成就感や達成感は、自分自身に対する自信、仲間との連帯感につながりました。毎回の振り返りは、これまでの友だちの見方を深め、様々な気付きを生み出しました。二日間の内容を紹介します。

一日目：館内オリエンテーリング（30カ所のポイント巡り）

全校算数・学年の学習・姫小サポーターへの感謝の手紙書き・大縄チャレンジ

二日目：プロジェクトアドベンチャー（なかよしチャレンジ）
友達発見カード書き・振り返り作文

入浴をはじめ、部屋での寝具の準備等、親代わりになり高学年が大変頑張ってくれました。テレビやゲームを忘れるほど、楽しい部屋での夜を過ごしたようです。トランプ・ウノ・コント・演劇・スパイごっこ…たくさんの語らいにより、みんなのいいところが見つかり、絆が深まった気がするとは、高学年のコメントでした。

雪の高床山にて桜の記念植樹

緑の学習を進めている4年生。今年は高床山を舞台にした映画作りを進め、何度も訪ねました。桜プロジェクトでの雪囲い作業を終えた12日、市役所職員や地域の方の指導の下、桜ロードの植樹が今年最後の高床山となりました。生憎の雪となりましたが、映画づくりの記念になるようにと、看板に言葉を記した4年生です。植樹場所が「一番いい所だよ～」と教えていただき、春に咲きほこる桜を思い浮かべていました。



直江津捕虜収容所跡を見学して

11月26日、妙高市平和教育の一環として、6年生が関川の河口にある平和記念公園へ現地学習に行きました。直江津捕虜収容所跡に造成された記念公園の見学をはじめ、展示館では上越日豪協会の方から説明を受けました。戦争時代の悲惨な話から、現在の生活のいじめに及び、分かりやすくお話下さいました。6年生は『死者に敵も味方もない』という言葉が、一番胸に残ったようでした。



皆さんの心のこもったおもてなし、さくら米の笹寿司の美味しかったこと感動いたしました。私自身多くのサポーターの皆様のご活躍に大変刺激を受け、一年の締めくくりに良いプレゼントをいただいたと思います。

うれしいお礼状が届いたよ



図書館ボランティアさんからのメッセージ
子どもたちの声が聞こえる学校に来るのが楽しかったです。自分の修理した本をまた読んでくれると思うと、とてもうれしいです。

獣医さんからのメッセージ
注意深く観察して、丁寧に扱うことで動物も植物も元氣良く育つことを忘れたいです。

**姫小サポーター感謝の集い
笹寿司でおもてなし**